

経営指標（効率的かつ安定的な農業経営【個別経営体】）

No.	営農 類型	経営 規模 (ha)	経営概要(ha)	農業 所得 (万円)	労働時間 (時間/年) (雇用含)	生産方式
1	水稲+麦  【稲作・麦類作(複 合経営)】	12.0	水稲(早生) 2.0 水稲(中生) 8.0 麦(小麦) 6.0 麦(はだか麦) 6.0	525	1,888 (2,497)	【水稲】 ●早生「コシヒカリ」 中生「おいでまい」 ●自家育苗、自家乾燥 ●一発処理型除草剤 ●肥効調節型肥料（全量基肥方式） 【麦】 ●小麦「さぬきの夢 2009」 ●はだか麦「イチバンボシ」 ●乾燥は共同利用施設 ●低PK肥料 ●経営所得安定対策の交付金を含む
2	水稲+麦+作業受 託  【稲作・麦類作(複 合経営)】	2.5	水稲(中生) 2.5 麦(小麦) 2.5 作業受託 耕起・代かき・田植え 12.0 収穫・乾燥・調整 12.0	397	1,751 (1,887)	【水稲】 ●中生「ヒノヒカリ」 ●その他は同上 【麦】 ●同上 【作業受託】 ●耕起・代かき・田植えの受託料は 30 千円/10a ●収穫・乾燥・調整の受託料は 38 千 円/10a
3	水稲+葉ネギ+レ タス  【露地野菜】	3.0	水稲(早生) 1.5 水稲(中生) 1.0 葉ネギ 0.4 レタス(年内どり) 1.0 レタス(年明どり) 1.3 レタス(春どり) 0.7	660	4,004 (6,836)	【水稲】 ●購入苗、疎植栽培 ●乾燥は共同利用施設 ●中生「ヒノヒカリ」 ●その他はNo. 1に同じ 【葉ネギ】 ●夏季の余剰労働力を活用 【レタス】 ●年内～春の継続出荷 ●前作のうね、トンネルを活用した春 どり
4	水稲+アスパラガ ス+ブロッコリー  【露地野菜・施設 野菜(複合経営)】	2.2 (施設面 積 0.2)	水稲(早生) 1.0 水稲(中生) 1.0 アスパラガス(施設) 0.2 ブロッコリー 1.2	414	3,017 (3,217)	【水稲】 ●No. 3に同じ 【アスパラガス】 ●「さぬきのめざめ」 ●ハウス長期どり 【ブロッコリー】 ●年内～年明どり ●セル成型苗 ●定植・出荷調整支援利用

No.	営農 類型	経営 規模 (ha)	経営概要(ha)	農業 所得 (万円)	労働時間 (時間/年) (雇用含)	生産方式
5	水稲+レタス+ニンニク  【露地野菜】	3.0	水稲(早生) 1.5 水稲(中生) 1.0 ニンニク 0.2 レタス(年内どり) 1.0 レタス(年明どり) 1.3 レタス(春どり) 0.7	676	3,514 (6,207)	【水稲】 ●No.3に同じ 【ニンニク】 ●乾燥共同施設 【レタス】 ●No.3に同じ
6	キャベツ  【露地野菜】	4.0	キャベツ(11月どり) 1.0 キャベツ(1月どり) 1.0 キャベツ(3月どり) 1.0 キャベツ(4月どり) 1.0	443	2,574 (5,091)	●品種の組み合わせによる周年栽培 ●セル成型苗、移植機
7	イチゴ  【施設野菜】	0.3 (施設面積 0.3)	イチゴ(養液) 0.3	644	3,756 (6,408)	●「さぬき姫」 ●香川型高施設栽培「らくちん」システム
8	ミニトマト  【施設野菜】	0.2 (施設面積 0.2)	ミニトマト(養液) 0.2	470	3,770 (7,106)	●購入苗、養液栽培、長期どり ●マルハナバチ導入 ●選果機
9	みかん+中晩柑+びわ  【果樹類】	2.3	露地みかん 「ゆら早生」 0.5 露地みかん 「小原紅早生」 1.0 露地みかん 「青島温州」 0.5 露地中晩柑 「不知火」 0.2 びわ 「茂木」・「田中」 0.1	427	2,858 (5,216)	【露地みかん】 ●「小原紅早生」マルチドリップ灌水同時施肥栽培 ●「青島温州」隔年交互結実 【露地中晩柑】 ●「不知火」 【びわ】 ●「茂木」5a、「田中」5a
10	みかん+中晩柑+びわ  【果樹類】	1.1	露地みかん 「ゆら早生」 0.2 露地みかん 「小原紅早生」 0.5 露地中晩柑 「不知火」 0.2 びわ 「茂木」・「田中」 0.1 びわ 「なつたより」 0.1	488	2,392 (2,710)	【露地みかん】 ●「小原紅早生」マルチドリップ灌水同時施肥栽培 ●「小原紅早生」ブランド化による高単価販売 【露地中晩柑】 ●「不知火」ドリップ灌水同時施肥栽培 【びわ】 ●「茂木」5a、「田中」5a、「なつたより」10a

No.	営農 類型	経営 規模 (ha)	経営概要(ha)	農業 所得 (万円)	労働時間 (時間/年) (雇用含)	生産方式
11	施設みかん+施設 中晩柑  【果樹類】	0.6 (施設面 積 0.6)	施設みかん 「小原紅早生」 0.2 施設中晩柑 「不知火」 0.2 施設中晩柑 「せとか」 0.2	469	1,918 (2,302)	【施設みかん】 ●11月下旬加温による7月出荷体系 【施設中晩柑】 ●無加温栽培、ドリップ灌水同時施肥 栽培
12	キウイフルーツ  【果樹類】	0.8	キウイフルーツ 「さぬきゴールド」 0.3 キウイフルーツ 「香緑」 0.3 キウイフルーツ 「さぬきキウイっこ」 0.1 キウイフルーツ 「さぬきエンジェルス イート」 0.1	436	1,958 (2,230)	●一文字整枝、溶液授粉 ●非破壊糖度センサーによる生育予 測と園地区分
13	施設ぶどう+露地 ぶどう  【果樹類】	0.4 (施設面 積 0.2)	施設ぶどう 「シャインマスカット」 0.2 露地ぶどう 「ピオーネ」 0.2	501	1,609 (1,673)	【施設ぶどう】 ●「シャインマスカット」1月末加温 10a、無加温 10a 【露地ぶどう】 ●「ピオーネ」 ●トンネル栽培 ●ジベレリン1回処理
14	露地もも  【果樹類】	1.5	露地もも 「日川白鳳」 0.5 露地もも 「あかつき」 0.5 露地もも 「なつおとめ」 0.5	478	2,236 (5,070)	●早生「日川白鳳」、中生「あかつき」、 中生「なつおとめ」
15	オリーブ  【果樹類】	1.0	オリーブ 「ミッション」 0.5 オリーブ 「ルッカ」 0.5	454	2,202 (3,529)	●新漬用「ミッション」 採油用「ミッション」、「ルッカ」 ●自家採油
16	輪ギク  【花き・花木】	0.3 (施設面 積 0.3)	秋ギク 「神馬2号」 0.6 夏秋ギク 「精の一世」 0.3	461	3,026 (3,484)	●直挿し栽培、無摘心栽培、土耕栽培 ●購入穂の活用による品質改善と育苗 作業の効率化 ●四段サーモ変温管理 ●低温期における低温開花性品種「神 馬2号」を利用 ●持込み共選

No.	営農 類型	経営 規模 (ha)	経営概要(ha)	農業 所得 (万円)	労働時間 (時間/年) (雇用含)	生産方式
17	カーネーション 【花き・花木】	0.3 (施設面 積0.3)	カーネーション 0.3 「スタンダード」 60% 「スプレー」 40%	886	3,409 (5,880)	●ベンチ栽培、養液土耕栽培、反射マ ルチ栽培 ●全量購入苗 ●変則4株植え ●天敵、黄色蛍光灯活用 ●二重被覆、循環扇、変温管理
18	マーガレット+ひ まわり 【花き・花木】	0.35 (施設 面積 0.3)	マーガレット(施設) 0.4 ひまわり(施設) 0.2 ひまわり(露地) 0.05	451	3,095 (3,678)	【マーガレット】 ●全量購入苗 ●簡易自動定植機 ●簡易隔離ベット 【ひまわり】 ●テープシーダ播種機 ●種子の予措とベタ掛け
19	ランンキュラス+ 小ギク 【花き・花木】	0.35 (施設 面積 0.25)	ランンキュラス(施設) 0.25 小ギク(露地) 0.1	458	2,838 (4,103)	【ランンキュラス】 ●ウイルスフリー塊根の購入による 品質及び生産性の確保 ●防虫ネット、シルバーマルチによる 病害対策と防除対数の削減 【小ギク】 ●マルチ被覆による土壌水分確保と 雑草抑制 ●ウイロイドフリー苗の購入 ●電照による開花調節
20	酪農 【酪農】	3.0	経産牛 60頭 初妊牛 4頭 ほ育、育成牛 16頭 飼料(イタリアンライグラス) 3.0 稲WCS、稲わら収集 面積 2.0	531	4,080 (5,221)	●フリーバーン・ミルクパーラー方式 ●自給飼料ラップサイレージ ●稲WCS、稲わら利用 ●乳牛供用年数延長
21	肥育牛① (黒毛和種去勢肥 育) 【肉用牛】	2.0	肥育牛 120頭 飼料(イタリアンライグラス) 3.0 稲WCS 1.0 稲わら収集面積 2.5	861	2,945 (2,982)	●舎飼い ●自給飼料ラップサイレージ ●稲WCS、稲わら利用 ●肥育期間短縮 ●余剰堆肥販売
22	肥育牛② (交雑種去勢肥 育) 【肉用牛】	—	肥育牛 200頭	1,011	4,055 (4,457)	●舎飼い ●流通飼料主体 ●肥育期間短縮 ●余剰堆肥販売

No.	営農 類型	経営 規模 (ha)	経営概要(ha)	農業 所得 (万円)	労働時間 (時間/年) (雇用含)	生産方式
23	繁殖牛  【肉用牛】	—	繁殖牛 30 頭	468	1,409 (1,409)	●黒毛和種 ●子牛9か月飼養 ●余剰堆肥販売
24	養豚  【養豚】	—	繁殖豚(種雌豚) 100 頭 種雄豚 8 頭 肥育豚(常時飼養頭数) 1,100 頭	475	3,722 (3,729)	●繁殖・肥育一貫経営 ●人工授精活用、専用分娩舎での無・半看護分娩 ●飼養環境及び飼料給与適正化 ●事故率低減
25	採卵鶏  【養鶏】	—	採卵鶏(常時飼養羽数) 40,000 羽	769	4,080 (5,840)	●大すう育成方式 ●自動給餌機等 ●防疫対策(高病原性インフルエンザ等)の強化

※「 」は品種名

( )は作型、品目名

[組織経営体(集落営農)]

No.	営農 類型	経営 規模 (ha)	経営概要(ha)	農業 所得 (万円)	労働時間 (時間/年) (雇用含)	前提条件
26	水稲+麦  【稲作・麦類作 (複合経営)】	15.0	水稲(早生) 2.0 水稲(中生) 8.0 麦(小麦) 7.0 麦(はだか麦) 7.0	706	2,636  基幹1名 (1,281) 補助4名 (1,353)	【水稲】 ●早生「コシヒカリ」 中生「おいでまい」 ●自家育苗、自家乾燥 ●一発処理型除草剤 ●肥効調節型肥料(全量基肥方式) 【麦】 ●小麦「さぬきの夢2009」 ●はだか麦「イチバンボン」 ●乾燥は共同利用施設 ●低PK肥料 ●経営所得安定対策の交付金を含む
27	水稲+作業受託 【稲作】	1.5	水稲(中生) 1.5 作業受託 耕起・代かき・田植え 15.0 収穫・乾燥・調製 15.0	449	1,876  補助5名 (1,876)	【水稲】 ●No.26に同じ 【作業受託】 ●耕起・代かき・田植えの受託料は30 千円/10a ●収穫・乾燥・調製の受託料は38千 円/10a
28	水稲+麦+プロ ッコリー 【稲作・麦類作、 露地野菜(複合 経営)】	12.0	水稲(早生) 2.0 水稲(中生) 8.0 麦(小麦) 7.0 ブロッコリー 1.1	692	3,364  補助9名 (3,364)	【水稲】 ●No.26に同じ 【麦】 ●No.26に同じ 【ブロッコリー】 ●年内～年明どり ●セル成型苗 ●定植・出荷調製支援利用

注1) 主たる資本装備については、資料の営農類型モデルに記載している。

注2) 集落営農の経営費には雇用費(850円/時)を含めておらず、農業所得欄は、利益配当前の所得を示している。

注3) 組織経営体とは、複数の個人又は世帯が、共同で農業を営むか、又はこれと併せて農作業を行う経営体であって、その主たる従事者が他産業並の労働時間で地域の他産業従事者と遜色ない生涯所得を確保できる経営を行い得るもの(例えば、農事組合法人の他、農業生産組織のうち経営の一体性及び独立性を有するもの。)である。

注4) 経営所得安定対策の補助金を所得として計上(全類型共通)

注5) 集落営農の補助従事者は、50日/年・人とした。